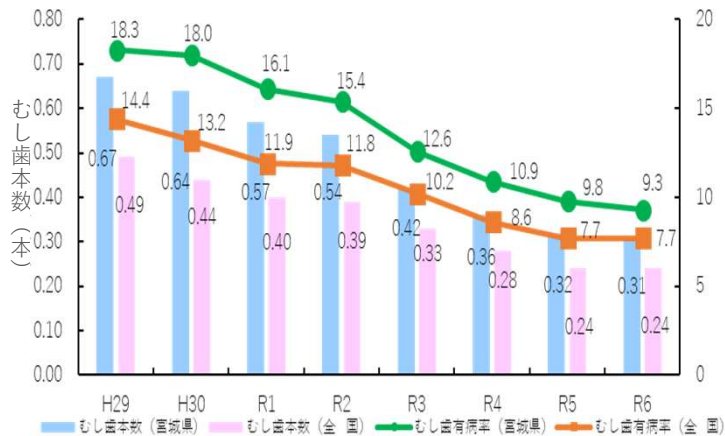


## フッ化物洗口普及事業

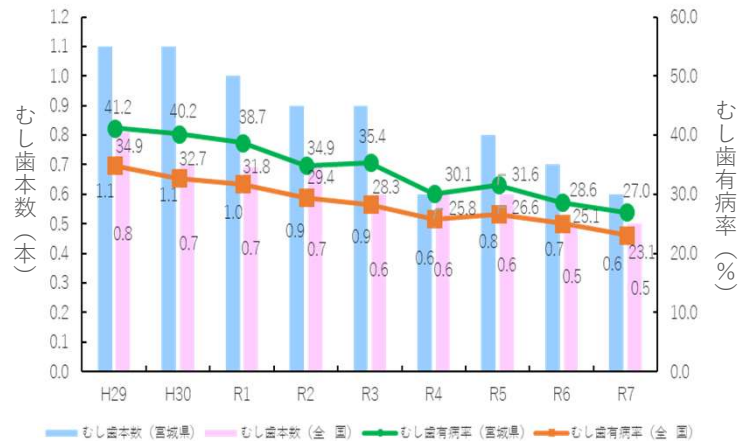
## 現状

むし歯は減少傾向にありますが、いまだに罹患率が高いです。  
全国的に見ると宮城県は他の地域と比べて、むし歯の多い地域であることがデータで示されています。

3歳児 むし歯本数と有病率



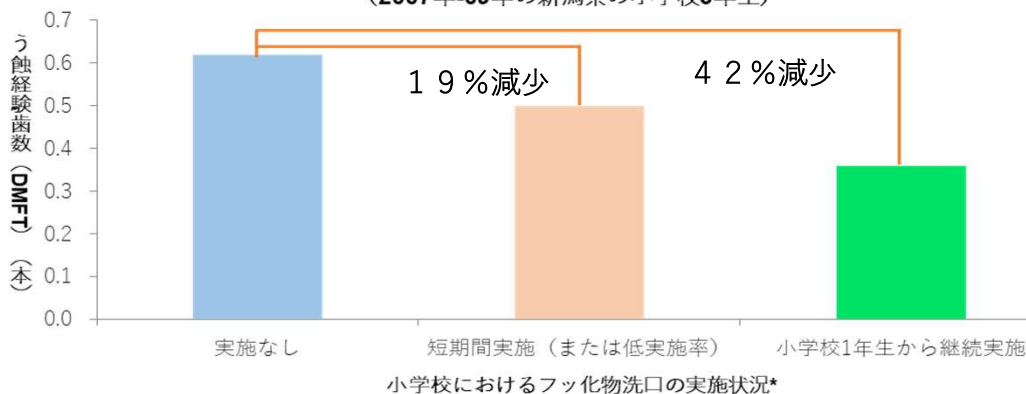
12歳児 むし歯本数と有病率



## 目的・効果

フッ化物洗口は、歯ブラシの届かないところのむし歯を予防し、さらにむし歯の進行を抑制する効果があります。特に、永久歯の生えそろう中学生頃まで行うことが効果的で、学校などの集団で行うのに適しています。フッ化物洗口液については、たとえ1人1回分を全量誤飲した場合でも、直ちに健康被害が発生することはないと考えられていることから、安全性は確保されています。

小学校でのフッ化物洗口のう蝕予防効果  
(2007年-09年の新潟県の小学校6年生)



©宮城県・旭プロダクション

フッ化物洗口の効果 (2007年-09年の新潟県の小学校6年生)

(日本歯科医療管理学会雑誌 2013)

※出典：厚生労働省フッ化物洗口マニュアル2022年版を改変

## 事業内容

フッ化物洗口の導入に向けて、実施体制の整備、歯科専門職等による保護者や教職員向けの説明会を開催するとともに、継続的なサポートを行います。  
実施に係る物品については宮城県健康推進課が準備します。事業参加時の費用はかかりません。

実施体制の  
調整研修会  
説明会実施継続的な  
状況確認と  
サポート

## これまでの取組

### 平成25年度

- ・県内の保育所・幼稚園、こども園の4・5歳児を対象にフッ化物洗口導入モデル事業を開始

### 平成30年度

- ・フッ化物洗口普及事業により、市町村のフッ化物洗口導入を支援実施

### 令和6年度・令和7年度

- ・角田支援学校白石校に、フッ化物洗口導入のための技術的支援実施

## 角田支援学校白石校への取組内容

### スケジュール

<対象> 中学部生徒

年月日	内容
令和6年10月	職員研修会
令和6年12月	保護者説明会
	保護者へ希望確認
	物品準備
令和7年1月	フッ化物洗口開始
令和7年4月	保護者へ希望確認
	フッ化物洗口継続 (必要に応じた支援の実施)
令和8年4月～	学校が中心となり継続

養護教諭と担任の先生が  
協力して実施

- ・市町村、学校、保護者（児童・生徒）の不安・疑問を除くよう十分な説明を行い、理解と協力を得た上で実施します。
- ・フッ化物洗口実施方法については、「フッ化物洗口マニュアル」に基づきます。
- ・歯科医師等の指導の下、適切な方法で実施し、安全性を確保した上で実施します。
- ・継続実施に向け、市町村、学校との調整を行います。



フッ化物洗口マニュアル

## 申込先

事業内容について個別のご説明も行いますので、御遠慮なくお問合せください。

宮城県 保健福祉部 健康推進課 健康推進第一班（宮城県口腔保健支援センター）

☎ 022-211-2623

✉ kensui-k1@pref.miyagi.lg.jp